2 不燃ごみ・粗大ごみの処理

（1）不燃ごみは細かく破砕してから選別し、資源物の回収や焼却処理します

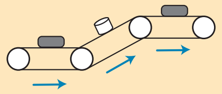
不燃ごみは、不燃ごみ処理センター（2施設）で処理します。不燃ごみの処理には、大きく分けて破砕と選別があります。不燃ごみは、始めに細かく砕いて容積を小さくします。次に、不燃ごみの中に含まれている鉄やアルミニウムは資源物として回収し、不燃物は埋立処分します。残ったその他ごみは、清掃工場で焼却処理します。

中防不燃ごみ処理センター
（江東区海の森）

京浜島不燃ごみ処理センター
（大田区京浜島）

不燃ごみの処理過程

① 供給コンベヤ

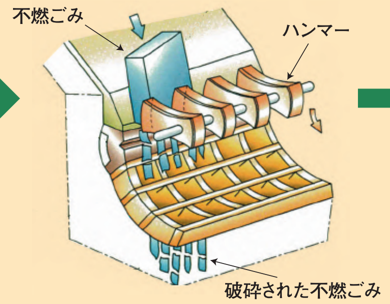


受入ヤードに搬入された不燃ごみを破砕機に送ります。不燃ごみの中に含まれる危険物などを監視員が確認し、取り除きます。

受入ヤードの搬入風景

不燃ごみを目視する様子

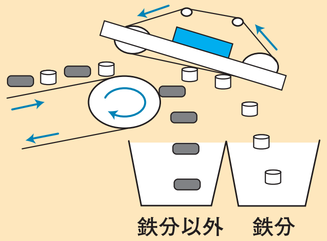
② 回転式破砕機（横軸）



高速回転するハンマーで、不燃ごみを一辺の長さ15㎝以下に破砕します。破砕機内部に蒸気を吹き込んで酸素濃度を下げ、二次電池やスプレー缶などによる可燃性ガスの爆発を防ぎます。

回転式破砕機（横軸）の内部

③ 磁選機



電磁石と永久磁石を併用し、破砕した不燃ごみの中の鉄分を吸着させて、選別し回収します。

磁選機の内部

鉄を回収します

回収した鉄

お願い

コードレス掃除機やモバイルバッテリーなど二次電池を内蔵する小型家電等を不燃ごみや粗大ごみとして出す場合には、事前に二次電池（バッテリー）を取り外すなど、各区で決められた方法に従ってください。

近年、小型家電等に内蔵された二次電池による火災が増加しており、ごみ収集車や設備が焼損しています。設備が焼損すると、修理費用が発生するだけでなく、23区の不燃ごみや粗大ごみを処理できなくなります。

※二次電池付き製品の分別や対策についてホームページで公開しています。

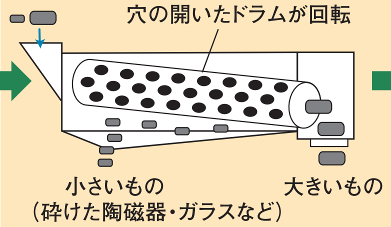
火災の原因となった二次電池

リチウムイオン二次電池によるコンベヤ火災
（中防不燃ごみ処理センター）

粗大ごみ破砕処理施設での火災

※下図に示す選別の流れは概略です。要所ごとに磁選機・アルミ選別機などが複数あります。

④ 小径ふるい選別機

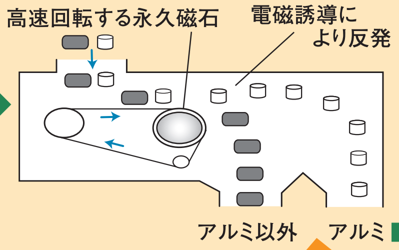


磁選機で選別した後の不燃ごみを円筒形の回転ふるいにかけ、陶磁器くずなどの細かい不燃物を選別します。

不燃物
（陶磁器・ガラスなど）

埋立処分の作業風景

⑤ アルミ選別機



通常、アルミニウムは磁石に吸着や反発しませんが、高速回転する強力な磁石に近づくと反発力が生じます。この力を利用して、不燃ごみの中のアルミニウムを飛ばして選別します。

アルミニウムを回収します

回収したアルミニウム

可燃系残さ

清掃工場で焼却

焼却灰・飛灰

焼却灰・飛灰

埋 立 処 分 場

資源化施設でセメント原料化・徐冷スラグ化・焼成砂化